市政のガラスばりをねらい

市内百二十七地区に

地区広報委員

民主的で明るく健康な市政は、あくまで市民生活と直結したガラスばりの市政でなければなりません。そのため、更に市民生活の中に、あるいは周囲に潜在する民意（苦情、意見、要望等）を把握し、これを積極的に市政に反映し、明るい地域のまちづくりに寄与し得る体制を必要とされるわけです。そうした諸般の実情から、市では十二月から留萌市地区広報委員を制度化し、市内各地区に委員を設けました。現在広報紙を発行して市政の内容をお知らせしたり、新聞、ラジオ広報車などでお知らせをしていますが、どれ一つ完全に達成することができませんでした。これでは小児マヒの予防注射をします。断水をしますとか云う市民のみなさまに欠くことのできない市役所のお知らせが、全市民にわかつてもらうことができませんでした。又市民生活の中から、市政に対する民意（苦情、意見、要望等）を完全に把握するにも不便が多いのです。これは市民のみなさまにとつても大変なことで、市民の市政をあずかつている市役所としても頭の痛いことの一つだつたわけです。市民のみなさまから、その都度聞きもれした、積みもれした、住む地域内（市民組織が出来ていないところ）では市政相談する方なり、その機会に恵まれないなどのおしかりを受けるのももつともなことでした。

そこで市民のみなさまが〝必らず知ることができる〟〝家庭にいて市政がわかる〟〝市政相談ができる〟というかねてからの願いを市民生活に実現するため、広報委員制度を設け、市内各地区から適任者を選び、広報委員を委嘱しました。この委員制度は市内全域を百二十七地区にわけ、各地区に一名の委員を委嘱（市民組織団体では代表者を）し、市政と地域住民の中心的指導助言者として、市民生活の向上と、市政の円滑化の要（かなめ）としてお世話願うことにりました。既に他市においてもこのような市政と住民のための制度が、次第に検討されていますが、この脳みは、人口の多い市ほど深刻なようです。

なお、この広報紙、公聴等については、この春実施した市の世論調査で改善してほしいとの建設的要望が多かつたことを機会に、こととしの春以来検討していたものです。なお十二月十八日には、労働会館会議室で開かれた第一回留萌市地区広報委員協議会で、集まつた各地区の委員に橋本市長から全員に委嘱状が手渡されました。この会議では、特にこの制度運営について活発な意見が交わされ、地区広報委員は

一、担当地区住民と市政の中核体となり、市政の滲透と相挨つて、潜在する民意を把握相談し、市政に反映（中継）し相互信頼の市政に寄与する。

二、地域の明るい街づくりについてのよき指導助言者、相談者として地域の振興と住民の相互親和に寄与する。

三、広報紙、及び重要事項の合理的配布周知を図る

以上をその主要な任務として運営に当ることを確認し、市政とあなたの住む地域の重要な要（かなめ）としてお目みえする事になりました。進んで相互協力と御相談をお願いいたします委員の任期は一年です。

信念と自信をもつて

市議会議長　道　重　雄

瑞気溢れる昭和三十七年の新春を迎えるにあたり、市民の皆さんの御健勝を心からお慶び申し上げます。

光輝ある新年初頭に際しわたくしはことしこそは、国際社会にとつて平和への悲願が達成せられるように

うち日本にとつては飛躍と安定と、そして国民のすべてに幸福とやすらぎをもたらされるように、さらに本市にとつては市勢の発展と充実がなしとげられる年であるように祈念して止みません。

さてわたくしは市政に参画するものとして、年があらたまる毎に覚悟を新にし決意を固めるのが新年に処する基本的な態度としてまいりましたが、特にことしはわたくしども議員就任以来ここに三度目の新らしい年を迎え市民のみなさんの信頼と負託に応えるべく、かつ、おもい使命をにない議員としていつそうの努力を続けなければならないことを痛感するものであります。

本市の現状は港湾整備、道路、学校、都市計画など未解決の問題が数多く残されておりますが、これが実行に際しては本市の現実と将来とをよく洞察して、あらゆる隘路を打破つて一歩一歩着実に進めなければならないと思うのであります

けれども、このことの実現達成は、議会人のみの力ではなしえないのでありまして、市民の皆さんの理解と協力とがその基礎をなすものであることは申すまでもない所であります。

わたくしどもは、市の主権者である市民の皆さんの意思を尊重する謙虚な気持が民主政治伸張の基底をなすものであることに思いを致すとともに、決定した意思はこれをあくまでもやり遂げるという信念と自信をもつてことに処するのでなければ市政の発展はなしえないと思うのであります。

希望の多い新年の新明を迎えて、わたくしは市民の皆さんとともにこのことを肝に銘じてこの年を努力してまいりたいと念じている次第です。

（写真は道議長）

迷うな金と口車

あなたは選挙を汚そうとしてないか

市民ぐるみで選挙を公明に

最近の選挙は、五当三落などと、お金のつかつたものが当選するということが大つぴらにいわれ〝汚れた選挙〟が心ある市民をなげかせています

しかし、この汚れた選挙をきれいな選挙にするのは、市民ひとりひとりの力によるものだということがとかく忘れがちです。

このため、こんどこそは市民ぐるみで公明選挙を推し進めようと、十二月に留萌市公明選挙推進協議会（会長田辺惣治）が結成されました

留萌市では、さる二十九年、全国でもいちはやく公明選挙推進協議会がつくられましたが、近ごろはいろいろな事情でその活動もかべにつきあたつたため機構を整えて強力な公明選挙をすることになつたものです。

市民の声を政治に反映するのが選挙であるのにこれがお金の力でゆがめられるとすれば、善良な市民の声がいつまでも市政に反映されることなく明るく健康な政治はとても期待できなくなるわけです。

こんどできた公明選挙推進協議会も、こうした汚れた選挙をなくするために、本当に市民ぐるみで、みんなが公明な選挙をしようと市民に呼びかけ、自覚をうながそうと活発な活動を進めることにしています。

公明な選挙は一部の人だけの力では実現できません。おたがいの力が積み重なつて、はじめて健康な政治ができるのです。

◆～◆

◆～◆

よい子たち市長を訪問

このほど、留萌中学校のよい子たち六人が市長室に橋本市長を訪問、なごやかなインタビューをしました

この子たちは、学校新聞を出しているもので、いがぐり頭やオカツパ頭のよい子たちが橋本市長をかこみ仕事のこと、新庁舎のことなど活発な質問をしていました。

とくに、新庁舎の建設の話では、市長室の壁にかけられた完成予想図を指さしながら、あるいは子どもたちの手帳に図を書いてやりながらのなごやかなものでした。

最後に〝いまの中学生にのぞみたいことは―〟との質問に対し、橋本市長は〝いまの中学生は、はつきりしていること、言いたいことははつきりいえることは非常によいことだ。この良いところをまげることなくすなおにのびてください〟と激励され、インタビューを終りました。

（写真は市長にインタビューする留中生徒）

引揚給付金が遅い

こんなときは行政苦情相談協力員に

引揚者給付金の請求手続きは、ことしの五月末日で打ち切られます。

海外からの引揚者の方ですでに請求の手続きをしたのに、認定通知書が意外に遅いと思われる方は、行政苦情相談協力員にご相談ください。

相談ありしだい調査の上解決します。

留萌市での行政苦情相談協力員は市役所市民課内青山喜三郎さんです。

恵まれない患者に見舞金

橋本市長のプレゼント

恵まれない家庭の患者に橋本市長から見舞金が贈られました。

生活がたとえ豊かでも、入院患者がでるということはなみたいていのことではありません。

まして恵まれない家庭では物心両面にわたつての負担が大きいものです。

このため、少しでも役にたちたいと少ない予算をさいて見舞金を贈つたものです。

これは生活保護を受けている家庭の入院患者全員に贈られたもので、市内の病院に入院している人人はもとより、地方で入院している人に対しても同じように贈られました。

なお、生活保護家庭に対してはこのほか、年末たすけあいの金品、三カ月以上入院しているものに対して道知事からも見舞金品が贈られました。

秋の祭典〝できる

8ミリ天然色

自由におかしします

さる十月八日行われた第一回留萌市民運動会の記録天然色映画〝秋の祭典〟ができあがりましたこれは、はじめて市民が一カ所に集まつて秋の楽しい一日を過ごしたなごやかな運動会風景を、八ミリ天然色映画にまとめたものです。

この映画には、当日の入場式から対抗競技、こどもからおばあさんまで参加してのレクリエーション競技、それに体操、空手、剣道などの公開演技も含め最後の表彰式までをまとめたものです。

なお、希望の団体には無料で貸出しますので、市民課市民係までお申し込みください。

❖

❖